

2009 年度  
環境活動レポート

2009 年 10 月 1 日

昭和ネームプレート株式会社

# 環 境 方 針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

地球環境の保全が人類共通の最重要課題であること

地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要であることを認識

し、可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、

リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。

それらをふまえ下記に環境方針を定め継続的に改善します。

1. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
3. 水資源の節水
4. 化学物質を正しく使用し管理する
5. 環境関連法規制等の遵守

2007年2月17日

昭和ネームプレート株式会社

代表取締役 瀬田 昭男

## 事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネームプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
- (3) 設 立 1957年(昭和32)4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 各種ネームプレート(銘版)の製造・販売
- (6) 事業規模 年間売上 約415百万円(2009年度実績)  
従業員 35名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川6-52-10  
TEL 03-3892-4221(代) FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネームプレート株式会社 埼玉工場  
埼玉県越谷市蒲生3882-1  
TEL 048-988-7611(代) FAX 048-986-6261  
E-mail [kamiya@show-np.com](mailto:kamiya@show-np.com)
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者  
代表者 代表取締役社長 瀬田昭男  
管理責任者 資材部部长 神谷丈夫

## 環境目標とその実績

			2009 年度 2008.9 ~ 2009.8	2010 年度 2009.9 ~ 2010.8	2011 年度 2010.9 ~ 2011.8	2012 年度 2011.9 ~ 2012.8
			(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	総量(kWh/年)	125414	124160(1%)	122919(2%)	121690(3%)
	ガスの削減	総量(/年)	64.2	63.5(1%)	62.8(2%)	62.1(3%)
	ガソリンの削減	総量(/年)	12076.71	11955.95(1%)	11836.4(2%)	11718.04(3%)
	CO2 の削減 (上記の合計)	総量(t/年)	75.594	74.839(1%)	74.091(2%)	73.351(3%)
節水	総排水量削減	総量 (m <sup>3</sup> /年)	823	815(1%)	807(2%)	799(3%)
廃棄物量の削減	一般廃棄物削減	総量 (kg/年)	1202	1190(1%)	1179(2%)	1168(3%)
	産業廃棄物の削減	総量 (kg/年)	7692.4	7615.5(1%)	7539.4(2%)	7464.1(3%)
	段ボールの再利用	再利用率 (kg/年)	568	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%

1 新たに 2008 年 9 月から 2009 年 8 月までの実績を基に BM を設定したが活動年月が浅い為、大幅な乖離となった事により今期も前期の実績を BM として活動し、より詳細な数値を設定した。

2 水道は 2 ヶ月に 1 回の測定

この他に次のことに取り組みます。

- ・化学物質を正しく使用し管理する。

## 環境目標・活動計画と評価

対象期間(2008 年 9 月 ~ 2009 年 8 月)までの目標とその実績についての計画と評価

取り組み項目		達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	電力・ガス・ガソリン等の削減	B.M に対し大幅に達成	前期実績を基に活動し大幅な達成となったが、活動年月が浅い為今期も前期実績を B.M とし、より詳細な数値を設定する。
	総排水量の削減	B.M に対し大幅に達成	上記に同。
廃棄物量の削減	一般廃棄物の削減	B.M に対し大幅に達成	上記に同
	産業廃棄物の削減	B.M に対し未達	業者変更により一般廃棄物も産廃扱いにより固形燃料としてリサイクルとした為に未達となった。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。	社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	有機溶剤作業主任者 2 名増員により、安全な作業環境にて作業に従事できる。

(総評) 全ての取り組み事項について B.M を大きく達成しており EA21 の様々な活動の成果が顕著にみられたという事である。しかしながら大切なのは今後の取り組みであり、活動の成果が出た中での更なる成果が求められるわけで、より細部にわたり活動の幅を広めるとともに、新しい取り組みも必要に成ると思われる。又今後は政府主導の環境活動も活発化しており、当社としてもそれに合わせた活動内容に調整する事を視野に入れなくてはならない。

代表取締役 瀬田昭男

## 環境関連法の遵守状況

環境関連法規等にとっとり、遵守しています。

「埼玉工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去5年間にわたって違反や訴訟は1件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場

代表取締役社長 瀬田昭男

管理責任者 神谷丈夫

2009.10.1